

## 「弘前市立小・中学校の教育改革に関する基本方針」に係る 第3回地域意見交換会会議録

中学校区:津軽中学校区

月 日:平成27年9月28日(月)

時 間:18:30~20:00

場 所:津軽中学校 体育館

参加人数:21名

### <記録>

| 番号 | 質問等の要点  | 回答内容  |
|----|---|---|
| 1  | 小中一貫教育システムは、建物も小・中学校で一つにするのか。別々のままで教育目標を統一するのか。           | 施設一体型と分離型どちらもあります。教育効果の点では一体型が望ましいと思いますが、全国的には8割が分離型で行っています。分離型でも、目指す子ども像を小・中学校で統一していきます。     |
| 2  | 小中一貫教育システムによって、学校間での児童生徒の行き来はあるか。                         | 学校間の距離など、各中学校区の実情に応じて児童生徒も行き来し、交流授業などを実施することを検討していきます。  |
| 3  | 学校と地域との関わりは非常に大切なことで、今後仮に学校が統合しても、その繋がりは残さなければならない。       | 【意見等】   |
| 4  | 小規模校の方が、責任感の強い人に育つと感じている。もし百沢小学校が統合されるなら、常盤野小学校に通わせたい。    | 【意見等】   |
| 5  | 統合する場合には、スクールバスは運行してもらえるか。                                | 統合した場合のこれまでの事例では、タクシー移送やスクールバスの運行を検討してきました。このほか、弘南バス定期代の補助や、保護者送迎に対する通学費の補助など、通学手段の方法は様々あります。 |
| 6  | 百沢小学校の統合について、現時点で百沢地区の会合等では話題になっていないが、今後は話題として出てくると思う。    | 【意見等】   |
| 7  | 駒越地区では、現在数名いる学区外就学の子どもたちも町会等の行事には参加している。学区外就学も特に問題はないと思う。 | 【意見等】   |
| 8  | 統合については、百沢地区の保護者や地域住民を対象とした説明会を別に開催してほしい。                 | 【意見等】   |

| 番号 | 質問等の要点   | 回答内容  |
|----|--|---|
| 9  | 百沢小学校は児童数は少ないが、保護者や地域のまとまりが強く、また先生方の目も行き届いており良い面もある。       | 【意見等】   |
| 10 | 百沢小学校が統合した場合、岩木児童センターを利用できるメリットはあるが、スクールバスの送迎まで対応してもらえるのか。 | 学童保育終了時刻にもスクールバスの運行を想定しています。ただし、あらかじめバスの運行時間と本数を決めるため、全ての保護者の都合に合わせるのは難しいと考えています。                           |
| 11 | 百沢小学校の統合は短期での検討となっているが、3年で検討し、4年目で直ちに統合となるのか。              | 早急に検討するため短期としました。進めていくにあたっては、地域との合意形成が前提となります。そのうえで、統合までに3年程度、児童の交流を行うなどの準備期間も想定されるため、必ずしも4年で統合とは考えていません。   |
| 12 | 学校支援システムの地域コーディネーターチームとは、市独自のものか。また、現場の混乱にはつながらないか。        | 国では、地域コーディネーターを1人としていますが、負担軽減のためにチームでコーディネーターを配置することが望ましいと考えています。学校が混乱しないようチームの役割については、明確にする必要があるものと考えています。 |
| 13 | 統合にあたり、学校が減ることで財政面の効果はあるか。また、浮いた経費をスクールバスの運行に充てられないか。      | 統合により具体的にどの程度の経費削減になるか金額までは出せないが、学校の維持管理面ではある程度削減になるものと考えています。なお、スクールバスは、それぞれの地域の実情に応じて運行することとなります。         |
| 14 | 統合後に廃校となった校舎の利活用は、どのようになるか。                                | まずは、地域の意見を尊重しながら、廃校となった学校施設の利活用の方法を検討しながら進めています。  |